



四つ葉のクローバー型の
鳥栖ジャンクション

15

1987.10



渡辺知子のシンセサイザーと鹿野永勝の津軽三味線

総会に引きつづき、こん親会に移り、金子会長・大串副会長・古藤佐賀県出納長の鏡割りで開幕。安都間副会長の音頭で乾杯。

アトラクションには、五周年にふさわしい「渡辺知子のシンセサイザーと鹿野永勝の津軽三味線のサウンド」でダイナミックな演奏を楽しみました。

毎回配布される同日付の佐賀新聞にふるとニュースの話題もふくらみ佐賀銀行提供

のお土産や県人会で用意された郷土出身のまるまん倉庫の麦茶・村岡羊羹・大田のかん饅頭・大原の松露饅頭・のんこの焼酎などの記念品も盛沢山、会員のみなさんも笑顔一杯でした。



正副会長の鏡わり

にぎやかに懇親会

渡辺知子のシンセサイザーと津軽三味線のサウンド特別出演



中村副会長へ感謝状贈呈



会場一杯の出席者たち

福岡市佐賀県人会総会

三〇〇人つどいなぎやかに

六月二十日(土曜) はかた会館

福岡市佐賀県人会「昭和六十二年定期総会」は、金子宣嗣会長はじめ来賓・会員三百人が集まり、はかた会館福岡市中央区薬院四丁目で開催、盛会でした。

金子宣嗣会長が「昭和五十七年に永倉前会長より会長をお引き受け致してから、五周年の節目に当たる今回の総会が、

年々盛大に開かれ、意義深い総会になりました。みなさまがますますお元気で活躍いただきますよう、お祈りいたします」と挨拶。

引きつづき役員(副会長)の交替提案。永年副会長として、県人会の発展に、ご尽力



あいさつする金子会長

いただいた中村常一前副会長の「ご勇退にともない新しく大串梓副会長(佐賀銀行常務取締役)が紹介されました。国務多忙の中、ご出席いただいた保利代議士・大坪代議士・山崎代議士はじめ篠田・江頭・武藤県議・南原・古賀・宮副・川上市議・山本福岡市助役・古藤佐賀県出納長・浦原佐賀銀行副頭取・中尾佐賀新聞社社長・の来賓のみなさん、来賓代表のご挨拶に続き総会の議事に移り昭和六十一年度業務報告、決算報告、監査報告、六十二年度予算案審議を満場一致で可決。つづいて、中村前副会長と会報「むつごろ」発行に献身のご協力をいただいた大草前理事の両氏に感謝状と記念品の贈呈が行われました。

る地方の言葉」を使うべきだ
と思ひます。
昨年二月に、九州に帰郷す
ることができて、今度は全く
言葉も気にせず、通勤も近い
ということ、九州の良さを
満喫している生活です。
今後、先輩の皆様のご指導、
ご鞭撻のほどよろしくお願ひ
致します。(べんてる(株)電子
機器事業部長、佐)



「では通じないはずだと大
笑いとなり、いっぺんで皆と
の親密が深まったものです。
会議においても成績が悪く、
しかられている時最後に「そ
いぎ、どきやんすつぎ良か
すかね」と真剣になって言っ
てしまひ。皆で大笑いその後の
会議はスムーズに運びまし
た。

賀市出身
「唐津おくんち」と私
江口 守さん
此の原稿を唐津の鄙(ひな)
びた宿でしたためております。
実は講談社より三年來企画
中の「唐津おくんち」の版画が、
愈々十月下旬に刊行されます
ので、其のPRに連日の様に
当地に伺つておる訳です。十
八才迄を唐津で過した私にと
りまして「おくんち」は青春
其のものでした。今でも毎年
此の季節になりますと、血潮
が疼き笛や太鼓の音色が耳元
に響き渡る思いが致します。
版画に描かれたお旅所と曳
山十四台の華麗さ、其れを取
り巻く一〇〇〇名以上の大群
衆、おくんちならではの名
場面です。今回のPRに当り、
十数年振りは疎か中には半世
紀振りにお会いした小学校時
代の旧友も多数おり、昔話に
花が咲き本心に楽しい仕事と
なりました。講談社を三年前
に停年、第二の仕事として始
めた代理店ですが、久々に燃
え盛った思いです。
唐津も最近ではすっかり昔



の面影を変え福岡の商圏とし
て、近代化を余儀なくされつ
つありますが、あの笹垣、あ
の土壁、あの石橋等々城下町
の佇(たたずま)い又は「お
くんち」の音色と共に、永久
に残して貰い度い風物詩です。
此のむつごろがお手許に届
く頃、唐津はお祭り一色から

只今私は五年生

原田 邦夫さん

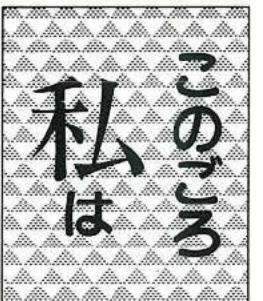
長かった公務員生活に昭和
五十八年三月区切をつけて、
縁があつて北九州市に本社を
置く若築建設(株)九州支店に勤
務させて貰つております。

勤めた当時から我が国の経
済は安定成長下で政府施策と
して公共投資が抑制され、公
共事業の依存度の高い建設業
界は厳しい時期でした。

その間佐賀県内では五十八
年度に九州横断自動車道鳥栖
東工鳥栖インターから約三
・二キロを施行させて貰ひ、又
五十九年から伊万里港浦ノ崎
埋立外周護岸工事等施行でお
世話になつて居ります。これ
から二十一世紀を目指した新
しい公共事業或は民間活力に
よる投資等将来への展望が開
けて来ているようでこれに向
けて営業努力を続けて参りたい
と思ひます。皆様方の御指
導御鞭撻をお願い致します。
最後になりましたが、県人
会の増々の発展を祈ります。
(若築建設(株)九州支店次長、
佐賀市出身)

寿司・会席
すし率
大仁 昭
有限会社
会席センター
代表取締役

港町本店 福岡市中央区港2丁目9-14
TEL (092) 761-1659
会席センター TEL (092) 781-1108
大手門支店 福岡市中央区大手門3丁目1-12
TEL (092) 751-1021



進歩ある限り若く...

正嶋 英雄さん

昭和二十五年、伊万里高校
卒業以来、福岡生活が続いて
いますが、母や兄は有田、弟
は佐賀県庁にお世話になつて
おり、郷里との縁もそれな
りに続いています。

昭和二十九年に西鉄入社、
昭和三十八年、コンピュータ
関連部門の設立に参加して以
後、この道とは縁続きです。
二年半程前に現在の会社に移
り、経営改善や情報システ

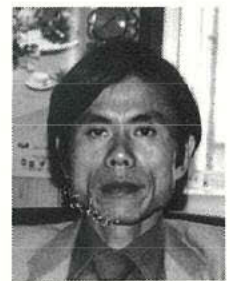


ム構築のお手伝い、データバ
ンチ事業、ソフトウェア開発
事業の拡大で頑張つておりま
す。
なにせこの世界、研究と知
恵と行動が勝負。自分ポケル
暇は無さそうです。「進歩あ
る限り若く...」とはある米
国詩人の「青春」の一節とか。
この方面で何か皆様のお仕
事のお役に立つことがあるか
も知れません。お気軽にご連
絡下さい。(例データサー
ビス西鉄社長、伊
万里市出身)

建築で頑張ってます

小松 省己さん

この九月十六日で四十四才に
なりました。貧乏暇なしとは
よく言つたものです。福岡に
出てきて十七年、柴田建設(株)
を継いで十六年、金に縁無し
そのくせ毎日毎日あくせくと
動き廻っています。朝六時五
分のラジオ英語講座に始ま
つて十二時過ぎベッドに入るま
で美に十七、八時間、動くだ
けなら他人の二・三倍と思つ



ていますが、金にならぬところ
を見るとからまわりの感が
あります。四十四才を倍すれば
八十八才。どう控え目に見ても
人生の峠を越えころがりつつ

故郷を想う

姉川 英之さん

電気工事業などという一
決して多忙すぎるという訳で
はないのだけれど、限られた
時間に限られた仕事を完遂し
てしまわなくてはならない



仕事についていますと、何か
のはずみに生まれた虚無の中
に、佐賀に帰って自給自足の
農業でも始めてみようかなど
と、将来の希望とも願望とも
つかぬ空想が充滿し年令のせ
いかなと自嘲しながらも、益
益その非現実的な思いが――
それは多分に生まれ故郷に対
する過去の甘い感傷と結びつき
、現実味をおびて膨張すること
があります。澄明な川濃い緑
の木々、そして真黒に日焼し
て鉄をふるう私自身、それは
もう際限なく拡がりはじめて
...。故郷富士町とて現実には
大きな変貌をとげつつある
ことは理解しつつも、又それ

方言を大切に

佐藤 邦弘さん

昭和四十三年三月、風呂敷
包みを持つての上京より十八
年間東京での生活。当初は平
行して同一方向に走る電車に
さえめずらしく思う田舎者が
都会で生活していつるだろう
かという不安でいっぱいでは
ない。しかし、何をやってても、街
の人と同じくやれないならば、
地味でいくしかないと思ひ、
生活も、仕事もやつてきたつ
もりです。
「地味でいくことの一つに言
葉があります。私が配属され
た営業本部は、在京の人ばかり
でなく各地の出身の人がい
ながら東京弁を使つておりま
した。そんな中、女性に物を
依頼する時「これをな。おしと
いてくれんね」と言つたところ
全く意味が通じず理解して
もらえなかった。直
「す」とは片付けるの意味を持
つのが、東京では修理する
ということ。書類を修理す

でしょうか。
株式会社デ
ンケン、富士町出身)

九州交通の大動脈としての九州縦貫・横断高速自動車道が交差する鳥栖ジャンクションは、四つ葉のクローバー型である。まさにしあわせのまちとしての風格充分といえる。この四つ葉のクローバーをシンボルとして、観光協会が目覚ましい活動を展開中。若者も立ち上って、競馬場の大駐車場を活用したドライブイン・シアタース第一回九州国際映画祭を開催し、県内外から予想に倍する車と人を集めたコンベンションビュローの発足も間近である。

久留米・鳥栖テクノポリス建設という大目標の中で、北郷丘陵、鳥栖駅周辺、新幹線

四つ葉のクローバーで 幸せのまちづくり

ふるさとと首長

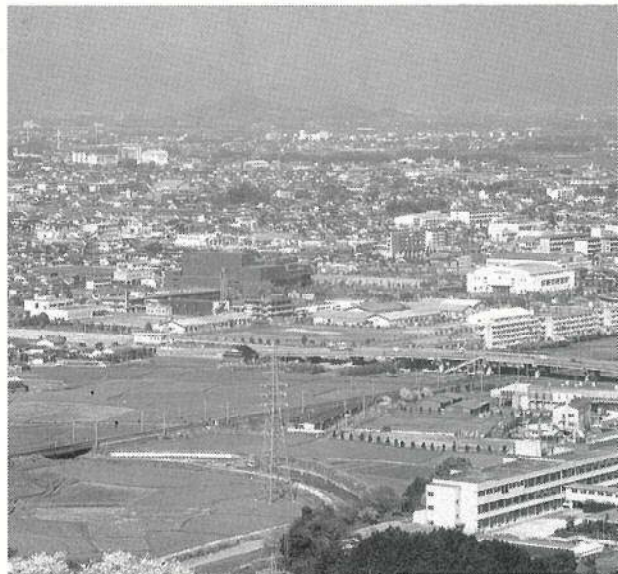


鳥栖市 山下 英雄市長

新鳥栖駅周辺の総合開発等々、大規模プロジェクトの推進をめざし、鳥栖市はいま燃えている。

先頭に立つ山下市長は今年三月市長に初当選した新進鋭のリーダー59才・県議の経験に加え、長い間九州・全国大での労働運動や社会教育活動の実績が無限の人脈をもつ強みとなっている。明専(現九州工大)卒のエンジニア・九州電力出身。

佐賀県人会にひとこと 明専三月には、観光協会主催で「弥生まつり」(郵便番号も八四一です)を計画しています。どうぞ御立寄り下さい。



みどりと若さあふれ心ゆたかな鳥栖

道の分岐点として、人と物と文化の結節点としての役割を担っていました。さらに、明治22年九州鉄道の開通に伴って鳥栖、田代の二駅が設置され、また、同二十四年に長崎本線が開通するに及んで、鉄道のまち「鳥栖」の基礎がつけられました。

昭和三十年代に国道三号、三十四号が整備・拡張されるとともに、優れた立地条件を活かして二十数社に及ぶ企業の積極的な誘致を行った結果、九州有数の内陸工業地帯として発展、昭和四十二年以来、工業製品出荷額は県内一を誇っています。六十年三月には、九州縦貫自動車道とクローバー型のジャンクションで交わる九州横断自動車道が開通、陸路交通の要衝となっています。その重要性を増しています。

さらに五十九年九月、久留米・鳥栖地域がテクノポリスの指定を受け、その副都都市として「人間と文化と技術に根ざしたまちづくり」を理念に、交通の要衝という天恵の財産を生かし、二十一世紀を展望した新しいまちづくりにまい進しています。

ふるさとと 同窓会

堅粕支部

十日会のあゆみ

理事 中山 政一

在福佐賀県人会堅粕支部が発足したのは昭和二十七年の頃である。初代支部長は山口忠一氏(元陸軍中佐)であった。彼氏の熱心な勧誘にほだされて其の年の暮に松雪氏等と共に入会した。其の後数人の方が次々に入会された様である。もし山口支部長の懸命な努力と勧誘がなかったら、現在の十日会も誕生していなかったであろう。其の後三十五年有余の間大過なく続いているから驚きである。堅粕支部が発足当時西公園の事務所にて桜を眺めながら県人会の懇親会が催された事を思い出す。

二代目寺崎県人会会長の頃である。其の頃の山口支部長は、県人会での幹事長級の人材であった事はまちがい立派な人物であった。昭和三十



家庭料理の味は又格別である。酒をくみ交し乍ら呑む程に酔う程に歓談は盛りあがる。Y談もさる事ながら子供の進学相談とか就職斡旋又は結婚見合など真面目な会話が出て来る事もしばしば真に結構なことだと思ふ。又年に一度の一泊旅行は十日会の唯一の楽しみである。過去三十年九州一円

三年山口氏が勇退され野中継雄氏が二代目支部長に就任された。当時の会員数十五、六名位だったと思う。堅粕支部十日会と改名されたのは其の後間もなくの事である。親睦会も毎月一回会名のごとく月の十日前後に会合する事に成った。又家族ぐるみの親睦を計る為に当番制にして各家庭で懇親会をする事になった。

は元より山口方面の名所旧跡をめぐり乍ら親交を深めて来たが佐賀県出身者の為か自然と郷土の温泉めぐりが多く成るのも致し方ない事であろう。十日会に見習って誕生したのが婦人部の十五日会である。原支部長の母堂が其の会長であり小生の愚妻が副を務めていた。其の頃の婦人部の皆さんは誠に元氣満ちた様子でいられた様に思う。堅粕支部内に地縁神社がある。其の社務所で男女合同の懇親会を催した事がある。佐賀県出身者のみ五十名余の会合で婦人部の協力もあって真に盛会であった事を思い出す。小生が野中支部長の後を引き継いだのが昭和四十二年以来五十五年まで支部長の席をかけた。現在は原支部長が本部の常任理事でもあり何かと好都合である。

特に金子現県人会会長が就任されて以来県人会も以前と違って完全な組織のもとで運営され、益々盛大に成っている事は真に有難い事で感謝にたえないところである。併小生もすでに七十七才そろそろ引退の時が来た様だ。

先日は支部長の紹介で唐津の見舞の滝は都荘で一泊し久しぶりに楽しい懇親会であった。

ふるさと紹介

鳥栖市

鳥栖市は佐賀県の東端に位置し、北は緑をたたえる九千部の連山、南は筑後川の漫々たる流れを擁し、その間には、市街地のあるならかな丘陵地帯と、約二、〇〇〇ヘクタールの水田地帯が広がっています。

昭和六十二年四月一日現在で人口五五、五七八人、世帯数一五、九四二です。

鳥栖市は、古くから肥前、筑前、筑後の三国が接する要の地にあり、長崎・薩摩両街

理事 久保 悦次



日本人の寿命が延び人生八十年時代に入ろうとしている。人は総じて健康で長生きしたい願望を持っている。では人生八十年代の現代社会に心身ともに健康で長生きするには今後どうしたらよいか、年をとるとともに考えるようになる。人間は老令化に伴い身体のだるさに故障を生じてくるがこれを完全に防止することは至難である。「健康づくり」とはを総称すれば、自分の健康は自己管理を行い病は早期発見・早期治療することにつづる。従って自分の健康管理は各々自分に適合した方法で研究実施されているのが現在の高令化社会でもある。

定年退職後早や九年目を迎えているが現在まで至極健康であり感謝している。そこで私の健康づくりの一端を紹介いたしますと、定年退職後四年余は再就職勤務、その後福岡県民生児童委員の委嘱を受けその仕事の傍ら、主たる日課は、早朝一時間歩くことにはじまり、庭木盆栽の散水手入れを朝食までに終える。また五年前から果樹・野菜作りを始め、現在果樹十種類・野菜約十五種類を栽培し、二三日毎に畑仕事に出掛け日光浴と併せて一杯汗を流し農作業を楽しみながら健康維持増進をはかっている。更に余暇には老令化による退屈しのぎにと六十の手習いで日本画のほかに可能な範囲の学習で終日時間不足の日々である。果樹もキウイ・白桃・ブドウなどの他又新鮮な季節野菜が常時食卓を飾り我が家の「健康づくり」の基礎作りをなしている。現在キウイ約六〇〇個、レモン約三五〇個が実り、秋野菜もシーズンとなり多忙な毎日を土に親しみ、趣味と実益を兼ねた一石二鳥の農作業を柱とした「健康づくり」に鋭意努めている。



大隈重信侯70歳代の里帰り記念写真。前列左から長女熊子さん、大隈侯、綾子夫人、二女光子さん。後ろは親類、側近。

大隈重信侯の写真 武雄で見つかる

佐賀県大隈重信侯の里帰り記念写真。前列左から長女熊子さん、大隈侯、綾子夫人、二女光子さん。後ろは親類、側近。

郷土佐賀が生んだ政治家で、早稲田大学の創始者である大隈重信侯が佐賀に里帰りし、家族と一緒に写った写真と早大の前身である東京専門学校県人会の記念写真が、武雄市内の印刷所で見つかり、佐賀市の大隈記念館に届けられた。写真が見つかったのは、武雄市朝日町高橋、印刷所経営久間駿二さん(三六)と久間家は塩田町久間出身で、武雄鍋



ん。ビクター本社の全面的な応援で、佐賀発全国ヒットに期待が集まっている。

甲斐さんはビクター専属歌手で数々のレコードを出しており、地元民謡グループも主宰している。筑紫さんも吹き込みでは大変な熱の入れようだった。ヒット乞うご期待。

神埼郡千代田町がヒシの里づくりに取り組み。佐賀平野では圃場整備事業が進んで、秋の風物詩、ヒシの実取りが



が少なくなるばかり。千代田町では今年産のヒシの種子を確保、来春、町内数カ所の水路にまく。その結果を見て来年以降はさらに町内全域に拡大する計画。ヒシが繁殖すれば、来春秋にはヒシの実取りが見られる。

次郎物語



県民映画として話題を呼んだ「次郎物語」が今度はオペラになる。佐賀県民オペラ協会(代表・丸山繁雄佐大教授)が計画を進めており、台本は佐賀市出身の人氣シナリオライター古田求さん、作曲は富永みさを佐大教授。

572)に応募を。当選発表は来年一月中旬。

応募例は、愛称が「神戸ハーバーランド計画(神戸市)、標語は「グリーンレッシュ鳥栖」運動に参加しよう(鳥栖地域開発促進会)など。

鳥栖駅周辺では土地区画整理事業、シンボルロード、多目的広場、多目的展示場などの整備、鉄道連続立体高架などの構想が描かれている。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

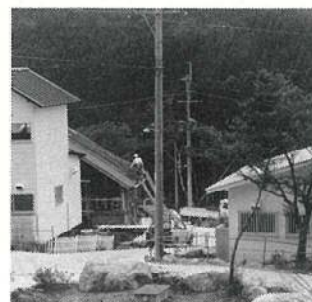
復元模型が完成



石井樋

佐賀青年会議所がふるさと興しの一環として行っている「よみがえれ佐賀展」が、こ

上川から分派する多布施川の取水口で、江戸期の治水の神様ともいわれた成富兵庫茂安の手による偉業。模型は縦一・四、横一、高さ二十センチで実物の二百五十分の一。青年会議所会員が約二カ月をかけて製作した。よみがえれ佐賀展は今年で七回目。佐賀藩「弘道館」資料や佐賀藩製造の日本初の蒸気船「凌風丸」模型なども展示された。



「廃村」で別荘ブーム

五十年半ばに廃村になった佐賀郡富士町の古場岳地区が、今、別荘地に生まれ変わろうとしている。福岡県内の不動産業者が山林を造成し、流行のロッジと土地をセットにして売り出しているもので、特

東京、福岡などの不動産業者が入って今年五月に四十区画、十月に三十五区画を売り出した。いずれも三日間で完売の異常人気。それもそのはず、一区画(約百六十五平方メートル)百七十万円前後、ロッジ(床面積四十平方メートル)付きでも電気や井戸完備で約五百万円と安い。一方には乱開発を心配する声も。



切木牡丹レコード

東松浦郡肥前町と町観光協会は、町制施行三十周年を記念して「切木牡丹(ぼたん)」、「肥前町音頭」を納めたレコードとカセットテープを作った。

切木ぼたんは肥前町にある県天然記念物。これを見て感動した佐賀市の会社員山田四



104 イニングの熱闘

熱闘を物語る長〜い長〜いスコア表

三養基郡三根町の三根小グランドでは先ごろ二十四時間野球大会が行われ、なんと百四イニングの熱戦を延々繰り広げた。

十月三日午後三時プレイボールで翌四日午後三時プレイ終了。この間、千四十八人がバッターボックスに立った。ゲームは「こぼれチーム」と「ジュッタンボチーム」の六十人。交代しながら深夜もぶつ通しで戦い、「夏から冬までを一日で体験した」というほど夜半は冷え込んだ。結果は109対97で「こぼれチーム」が辛勝したが、勝敗忘れてみんなでバンザイ。二十五歳と二十九歳の若手二人が全イニング出場を果たして最優秀選手に選ばれたものの、うれしさどころか二人とも「足がガクガクばい、とにかく早う寝たか」と気持ちひたすら風呂の待つわが家に向いていたという。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

私が福岡市に住むようになって、四年を過ぎました。今回、はからずとも県人会の副会長を仰せつかりましたが、さて、「私の履歴書」を書くようにと言われまして、私はこれといって、皆様方に御披露出来るような体験は持合せません。それで恥しさも顧みず、過ぎた時代の事を少し書いてみたいと思います。

私は伊万里の出身ですが、昭和四年、福岡県大牟田、三井鉱山の病院で生まれました。昭和四年は、西暦一九二九年、まさに世界恐慌の真っ只中で、世界中が経済不況に苦しんでいた頃です。歴史的には、この頃から我が国は戦争への破局へ向って歩き始めた事になります。

私は伊万里の小学校（その頃は国民学校と言っていました）

略歴 昭和三十年、佐賀銀行入行。五十一年、東京支店長就任。五十四年、人事部長就任。五十五年、取締役人事部長就任。五十八年、常務取締役（福岡地区本部）就任。



少年の頃、最も楽しく印象に残っているのは、伊万里のお供日の事です。本来伊万里の子ならば、喧嘩祭のトンテントンの太鼓の音を聞くと、自然と血湧き肉踊るのを感じるものです。私も幾度か太鼓を叩いた事がありますが、そ

私の履歴書

県人会副会長 大串 梓氏



佐賀銀行入行式にて

生が、動員で働いていた長崎の軍需工場で原爆の犠牲となつて亡った事は悲しい事でした。人生にはやはり、岐路があるものです。若し私が伊万里商業に進んでいたなら、いまは生きていないかもしれないからです。

中学四年の時、戦後初めて甲子園が始まりました。その頃

しました。新制大学の発足当時は校舎が無くて、久留米四十八部隊の兵舎を学舎として九大三分校に通学しました。その頃苦労を共にした学友達が、いまでも焼酎白波を飲む会、「白波会」を作つて、毎月集つては懐古談に花を咲かせています。

私が佐賀銀行に入行した時

は、朝鮮戦争の末期で、初めての任地は佐世保支店でした。当時の佐世保は特需にわく原色の街で、まさに今昔の感があります。その後各地を歩いて来ましたが、私の入行当時と現在の銀行では大変な変わりようです。私の時代は、戦後の荒廃の時代から高度成長を経て、現在の経済大国に至る、本当に国家の礎を築いた躍動の時代でした。この頃同窓会が増えましたが、かつての童顔の美少年が白髪を頂くようになり、来し方の苦労を物語っているように思われます。

敗戦という未曾有の体験をして、今日まで我武者羅に走って来ましたが、私達の世代は、色々の意味で敗戦がもたらしたものをぬきにしていると考えられませんか。戦争の犠牲になった小学校の同級生の印象は、いまでも特にはつきりとしています。私は、これからの人生を、彼等の為にも充実した世の中、立派な社会を作るために頑張りたいと思っています。

今年度より新副会長として県人会をご指導いただくことになりました。何卒よろしくお願い致します。（事務局）

活躍する佐賀県人

南区屋形原・病院下の現在地に、工場・店舗を移転したのが昭和五十七年、その後、事業も発展し福岡県下でも、「かるかん饅頭」では老舗として他に追随をゆるさない地位を確立した、大田社長に登場いただいた。

佐賀県藤津郡嬉野町出身、福岡に初めて出て来たのが、昭和二十七年、実兄と二人で洋菓子店を開店、其の後、長

人生最大の意義は人との出逢いである。私は人様に恵まれ生かされて現在に至ったと感謝している。昭和二十一年三才の時中国より福岡に引き上げ小学校入学と同時に岩吉家の養子となる。二十一才の時福岡で三年半の理容修業、福岡の父の店で働き、二十八才の時父と大喧嘩、青雲の志を抱いて博多出店、軍資金六十万、手作りの店は昭和四



負けない為の戦いを...

十五年十月開店。それから十七年十五店舗作る。昭和五十七年美容業に転出、商人ならば誰もが天神に拠点をと夢をもつ、昭和五十七年天神制覇の野望をこめて天神コアビル

にオープン。現在はその天神地区に四店舗、社員五十三名、年商二億三千万、福岡随一の美容室に成長した。

思えば無手勝流の創業時は明日の米もなく三名の給料を

崎、郷里の嬉野に戻り一人で洋菓子店を経営したがふたたび福岡の薬院にて「かるかん饅頭」専門としての再出発。「かるかん饅頭」のあの独特な味には天然の山いもが命



かるかんの老舗として

四月頃、豊富にとれる山いもを加工し急速冷凍し、とれない時期に使用するように考案されたとか。その工夫は大変だったとか。現在では喫茶店専門の「ケーキ造り」にも事業を展開中、忙しい毎日である。四十一年から、南区中尾地区での、町内会の副会長の要職を十七年間も受け持ち、公私にわたる活躍である。

佐賀県人の皆さん近くにおでかけの際は店にお立ち寄り下さい。

（担当 理事 上川）

福岡市佐賀県人会常任理事・堅粕支部長
まるまん倉庫株式会社 取締役社長

原 進

基山町出身 大正14年生

会社 〒816 福岡市博多区東那珂2丁目10-57 電話 092-411-4659
自宅 〒816 福岡市博多区東那珂2丁目8-32 電話 092-411-7016

新会員ご紹介

(敬称略氏名 連絡先、電話番号 職業 出身地の順)

田口 文博

▽若竹ハウジング▽

江上町

池原 民雄

▽九州電力㈱

▽佐賀市

瀬頭 舜平

▽西

ひと 会合 動き

福岡県副知事に

基山町出身

林照雄氏ご就任

福岡県副知事に佐賀県基山町出身の林照雄氏が就任。

林氏は福岡県立福岡農学校(現福岡農業高校)卒。農政課長、秘書室長を経て五十九年から出納長を勤められていた。

人情産地
さがふるさとまつり ご案内

■とき 11月22日(日)

・第1回公演/AM10:30~12:00

・第2回公演/PM1:30~3:00

■ところ 佐賀県文化体育館

佐賀市城内2丁目1番35号

■入場料 前売り券500円 当日券700円

■プログラム 別紙参照下さい

舞台美術セットを背景として約15団体の郷土芸能を次々と上演し美しい照明や音響装置で盛り上げます。また特産品の展示即売と抽選でプレゼントもあります。

同時開催の①有田のちやわん祭り②佐賀インターナショナルバルーンフェスタにもぜひお出かけ下さい。多数のご参加をお待ちします。人情産地さがふるさとまつり実行委員会からのご案内です。

日本銀行▽武雄市

野口 元継

▽西日本銀行▽佐賀

市

香月 一昭

▽九州相互銀行▽塩田

町

山本 茂樹

▽福岡市

役所助役▽佐賀市

副島 和代

▽西

▽日本生命▽山内町

大川内政彦

▽(有)大川内鉄

工所▽武雄市

染満 秀雄

レンチ斎画堂▽佐賀市

上滝 邦雄

▽(有)フ

▽大和町

姉川 英之

▽(株)デンケン▽富士

町

石丸 竹彦

多郎浦秀雄

▽北方町

クホテル博多▽北方町

林 照雄

▽県出納長▽基山町

紙 伊智郎

▽(有)アイア

ンドエス▽唐津市

小林 明

▽クラブみ

つばち▽佐賀市

大家 一男

城町

瀬戸 昭子

山田 昭雄

▽小城町

野中 武之

生設計(株)久保田町

▽日比

福田 正彦

佐藤 邦弘

▽べんて

(株)佐賀市

編集デスク

ふるさと佐賀でも、そろそろ秋祭りの季節です。あの笛の音色、太鼓の響きが聞えてくるようです。

「さがふるさとまつり」も開かれます。錦秋の一日を、ぜひ「ふるさとさが」へお出かけ下さい。

会報「むつごろ」に、今回ご投稿いただきましたが、スペースの関係で次号へゆずらしていただいた方に深くおわびいたします。

取材・編集について毎号特別のご協力いただきます佐賀新聞社にお礼申しあげ、県人会のみなさんのご健勝を祈ります。

(T)

会報むつごろ

昭和62年10月31日 発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 溝上 嘉幸)
福岡市中央区天神4丁目1-6
昭和セントラルビル内(〒810)
☎ 092-761-8253
制作 (有)タナカ製本印刷所
☎ 0955-23-5214